

JOSKAS ニュースレター

発行：一般社団法人 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS)

URL:<http://www.joskas.jp/index.html>

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル (株式会社コングレ内) TEL:03-3263-5394 FAX:03-5216-5552

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

新年のスタートにあたり、JOSKAS会員の皆様に年頭のご挨拶を申し上げます。また、日頃より当会の運営に対し、ご支援・ご協力を頂き、厚く感謝・御礼申し上げます。

当会は2009年に設立され7年が経過しようとしています。昨年、札幌で開催された第7回学術集会においては、1,143演題、2,564名という過去最高の参加者を迎え、盛況のうちに閉会しました。またJOSKASセミナーとしては初となるカダバートレーニングを昨年10月に行いました。

トラベリングフェロウシップ事業を開始し、イタリア膝関節鏡スポーツ学会 (SIGASCOT) から3名をお招きし、国内の会員施設に滞在頂き、交流を行いました。日本からはフランス関節鏡学会 (SFA) に、吉矢晋一先生 (JOSKAS理事/兵庫医科大学 整形外科教授)、山崎琢磨先生 (広島大学 整形外科)、山本祐司先生 (弘前大学 整形外科) の3名を派遣し、SFA2015学術集会にて発表して頂きました。両学会とは相互交流を予定しており、本年は日本からイタリアに派遣し、フランスからは日本にお招きすることになっています。

そのほか、手術症例登録システムe-NOTEの立ち上げや、会員専用ホームページの運用開始など、次々と新規事業を展開し、盛り上がりをもせた一年であったと思います。

本年は、関節鏡技術認定制度の開始を予定しており、まずは膝の技術認定申請から開始することを予定しております。本件は改めて会員の皆様にご案内をする予定ですので、よろしくお願い致します。

今後も、会員のための、ひいては国民の健康増進に資する事業を展開したいと考えておりますので、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会 (JOSKAS) 理事長
広島大学 学長

越智 光夫

2013年度JOSKASフェローシップ参加報告

～北海道大学大学院機能再生医学講座スポーツ医学分野、弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座にて研修～

「膝」を交えた交流が 日常診療並びに研究の糧に！

神戸大学大学院 医学研究科 整形外科 荒木 大輔
Dept of Orthopaedic Surgery, University of Pittsburgh.

このたび、第1回JOSKAS fellowshipにご選出頂き、北海道大学大学院機能再生医学講座スポーツ医学分野、及び弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座にて研修をさせて頂く機会を賜りました。膝関節靭帯再建術における基礎・臨床研究で有名な両講座において、手術見学のみならず、外来見学や基礎実験、動物実験まで見学させて頂き、異なる視点から見識を深めることができました。また、各講座の先生方と一緒に食事をお供にさせて頂き、研究のみならず様々なお話を通じて貴重な時間を共有することができました。

国内では唯一のTraveling fellowship programであり、臨床・基礎研究の研修のみならず、正しく「膝」を交えた交流をさせて頂くことができ、日常診療並びに研究の糧となり、大変感謝しております。

JOSKAS理事長越智光夫教授、並びに御推薦を賜りましたFu教授、黒坂教授にこの場をお借り致しまして改めて深謝させていただきますとともに、若手の先生方にはぜひこのような素晴らしい機会を利用して研鑽を深めて頂ければと存じます。

～大阪厚生年金病院、船橋整形外科病院にて研修

研修施設から受けた感銘を 今後の診療に役立てていく所存

私は第1回JOSKASフェローシップに採用して頂き、2013年10月7～11日に大阪厚生年金病院（現JCHO大阪病院）の米田稔先生、11月11～15日に船橋整形外科病院の菅谷啓之先生のもとで、肩関節の研修を受けさせていただきました。他施設における研修は自分にとって初めての経験であり、診察方法、考え方など勉強になることばかりでした。特に両先生ともに肩関節だけでなく、肩甲帯機能を重視され、さらに体幹・下肢にわたり総合的に評価をされている点や、絶えず新しい可能

札幌医科大学整形外科 道家 孝幸

性にチャレンジされている姿勢に大変感銘を受けました。この経験を今後の診療に役立てていきたいと考えております。また同年代の先生方との交友ができ、これから切磋琢磨していきたいと思っております。

最後に大変貴重な機会を与えてくださいました越智光夫理事長、会員の諸先生方、親身にご指導賜りました米田稔先生、菅谷啓之先生、また大阪厚生年金病院、船橋整形外科病院の先生方に、この場をお借りして感謝致します。

～弘前大学医学部整形外科にて研修～

所属大学以外で手技・臨床哲学を学び 見識を広げるよい機会に

今回私は、JOSKASフェローシップとして2013年9月9日から12日までの間、弘前大学医学部整形外科へ研修に行く機会を与えて頂きましたので報告させていただきます。

弘前大学では、ナビゲーションシステムを用いて術中に膝関節キネマティクスの計測を行っている様子を見学させて頂いたり、石橋教授をはじめ、先生方の洗練された手術手技を見学させて頂いたりするこ

八尾市立病院整形外科 平松 久仁彦

とことができました。所属大学以外の先生方の手技・臨床における哲学を学ぶことは、自身の見識を広げるといっても非常に有意義であったと思っております。

最後になりましたが、今回お世話になりました石橋教授はじめ弘前大学医学部整形外科の諸先生方、そしてこのような機会を与えて頂きましたJOSKAS理事長の越智教授にこの場を借りて御礼申し上げます。

JOSKAS委員会紹介

「国際委員会」

JOSKAS国際委員会 委員長
神戸大学大学院整形外科学講座

黒田 良祐

JOSKAS国際委員会は、黒坂弘昌担当理事のもと、委員として安達伸生先生、井樋栄二先生、西良浩一先生、史野根生先生、松田秀一先生、安田和則先生、私の計8名で構成されており、26年度より私が委員長を拝命し、平成26年7月、平成27年5月に委員会を開催致しました。

国際委員会のミッションはJOSKASの存在をInternational Society of Arthroscopy Knee Surgery and Orthopaedic Sports Medicine (ISAKOS) やAsia-Pacific Knee, Arthroscopy and Sports Medicine Society (APKASS) などの国際学会を通じて世界へ向けアピールすること、JOSKASとAPKASSのofficial journalであるAP-SMART (Asia-pacific Journal of Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation and Technology) やISAKOSのofficial journalであるJournal of ISAKOSに日本から学術的な最新情報を発信していくこと、ISAKOSをはじめ世界各国の膝・スポーツ・関節鏡学会との国際交流を促進することなどです。

国際委員会では越智光夫理事長の指揮のもと、国際学会ISAKOSと連携し、イタリア、フランスとのTraveling Fellowshipの企画などを

行っており、2015年7月にはイタリアItalian Society of Knee Surgery, Arthroscopy, Sports Traumatology, Cartilage and New Arthroscopy Technologies (SIGASCOT) からTraveling Fellowshipを受け入れ第7回JOSKAS札幌の開催前後に札幌、広島、神戸、大阪、横浜を訪問いただきイタリアスポーツ整形外科医との交流を深めました。また2015年12月にはJOSKAS-SFA (French Arthroscopic Society) Traveling Fellowshipとして日本からGodfather吉矢晋一先生とfellow 2名がグルノーブルを訪問し、SFA annual congressに参加致しました。2016年7月にはJOSKAS-SFA Traveling FellowshipとしてフランスからTraveling Fellowsを受け入れる予定であり、日本の受け入れ施設の調整を行っております。2016年9月には日本からイタリアへのJOSKAS-SIGASCOT Traveling Fellowshipが開催され、フィレンツェにて開催される6th SIGASCOT National Congress 2016に参加いただく予定です。

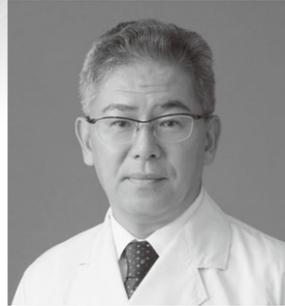
今後もJOSKASが国際的に存在感を示すことができるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

教授就任と今後の抱負

研究内容での挑戦

愛知医科大学整形外科学教室 教授

出家 正隆



愛知医科大学新中央棟
外来診療棟や入院病棟(ベット数900床)と、手術室19室を含む新棟

平成27年8月1日、愛知医科大学整形外科学教室教授に就任いたしました出家正隆です。これまで、私また家族も、愛知県や東海地区にはほとんど縁がなく、青(ドラゴンズ)より赤(カープ)が好きな生粋の広島育ちです。しかし、このたびは運命に導かれたと感じ、“男気”を出して精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

愛知医科大学整形外科学教室は、初代 上田文男教授、2代 丹羽滋郎教授、3代が佐藤啓二・現愛知医科大学学長で、私で4代目になります。愛知医科大学は1972年に創立されて以来43年の歴史があり、さらには、第2代教授丹羽先生のご尽力で完成した運動療育センターといういわゆるスポーツジムの施設もあります。また2014年5月には新病棟が完成し、膝関節障害の医療のみならず、障害の予防、健康増進に関する研究もできる環境です。私は、広島大学整形外科に入局し大学院入学以来約20数年間、膝関節を中心に臨床・研究を行ってまいりました。これからも、膝関節に関する臨床・基礎研究に焦点を当て、特に変形性膝関節症では、手術療法のみならず保存療法でのより効果的な治療法、人工関節置換術や骨切り術の観血治療の工夫とともに術後の早期社会復帰へ取り組む研究を行いたいと考えております。中高年に多い変性半月板の修復・再生に関する基礎・臨床研究をすすめたいと思っておりますとともに、スポーツ活動時に多い膝靭帯損傷や膝蓋大腿関節障害や治療などに関して動作・動態の変化など臨床に即した研究により一層励み、トップアスリートのケアから、高齢者の健康増進にいたるまで、膝・スポーツに関して愛知・東海地区の拠点になるように努力していき、日整会およびJOSKASの発展のために寄与したいと思いますので、よろしくお願いたします。

2016年度 JOSKASフェローシップ

2016年度フェローは以下の3名に決定致しました。

豊岡 青海 帝京大学医学部附属病院 整形外科
齋藤 昌愛 聖路加国際病院 整形外科
駿河 誠 日本大学医学部附属板橋病院 整形外科

2016年度 JOSKAS-SIGASCOT Traveling Fellowship

2016年度フェローは以下の2名に決定致しました。

古賀 英之 東京医科歯科大学 整形外科
熊橋 伸之 島根大学 整形外科

編集後記

ニューズレター委員会 杉本 和也 (奈良県総合医療センター整形外科)

新年明けましておめでとうございます。さて、本号ではトラベリン グフェローシップの話題が取り上げられました。国内外を問わず、他施設で“他家の釜の飯を食う”体験は緊張するものですが、新たな発見と学習の最高の機会になることは間違いありません。私も10数年前に米国や欧州を回る機会を頂きましたが、それは当に“目から鱗”の連続でありました。大学の伝統や国柄により、施設やドクターで治療の考え方や手術手技には違いがあり特色があります。それらの良い面はいくら文献を読んでも完全には理解できない

もの。“百聞は一見に如かず”です。フェローに選ばれた先生方は、すでによき伝統をもった施設に属されていることと思います。その伝統とフェローとして得た貴重な体験の融合は新たなbreak throughを生み出し、医療・医学が前進する礎になることでしょう。昨今、日本から発信される英論文の数は、他のアジア諸国に抜かれつつあります。フェローの先生方が若手会員の牽引役となられ、JOSKAS発の質の高い論文が数多く世界に発信されていくことを願ってやみません。